

石塚アポロ県政活動報告 県政レポート アポロ15号

2018.1.1 第15号 発行人／石塚吾歩路



アポロ後援会会長 前田重廣

新年、明けましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。精勤的に日々活動しておりますが、本年も気持ちを新たに、張り切って参ります。ご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。皆様からのご意見・ご要望を頂きながら、愛知県やこの地域の発展のために、これからも努力をして参ります。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。皆様におかれましても、輝かしい一年となりますことを心よりお祈りいたします。

平成三十年 元旦

愛知県議会議員 石塚吾歩路



本年の主な予定

1月8日 賀詞交歓会 あま市美和文化会館(10:00~)

2月 定例議会



5月 AGCゴルフ大会

6月 定例議会

新企画
是非ご来場
下さい

8月 ボーリング大会

9月 定例議会・オータムセミナー(吾翔会)

11月 秋の親睦旅行(総会)・県政報告会

12月 定例議会

随时 各地区お茶会・県政報告会

私の活動



△私学振興議連の要望



△地元のお祭りに参加

△明るい社会づくり(蟹江)で挨拶



△弓道やサッカーなどスポーツの大会に△



△弥富の里のイベントに △お寺の行事にも



平成
29
年度

総会

後援会バス旅行



アポロ後援会のバス旅行を兼ねた総会が、各地区に分かれて盛会のうちに終了しました。
多くの皆様方のご参加、本当にありがとうございました。



〒490-1202 あま市富塚長堀 53-1

Tel.052-445-1924

Fax.052-445-1944

<http://aporo-kouenkai.com/>

((((県政情報を常に発信)))

石塚アポロ

検索

アポロ後援会

検索

Facebook更新中!
友達リクエストよろしくお願いします!

リクエスト方法

① 石塚吾歩路 で検索

② 「友達になる」をクリック!

友達になる

リクエスト



リニア開業を10年後に控えた本県の重要な課題について

私の一般質問

平成29年12月定例県議会(要点抜粋)

●質問 名刺の活用

知事を先頭に本県の様々なPR、啓発活動をしていくことはとても大切ですが、全局的に取り組むことが出来ればその効果、影響は計り知れないものとなると思われます。昨今、自治体が観光産業に力を入れるなど、まさに自治体間競争の時代であるとも言われております。公費負担で名刺を作成し、自治体のPRを積極的に行っているところ多々あります。



動をしていくことはとても大切ですが、全局的に取り組むことが出来ればその効果、影響は計り知れないものとなると思われます。

昨今、自治体が観光産業に力を入れるなど、まさに自治体間競争の時代であるとも言われております。公費負担で名刺を作成し、自治体のPRを積極的に行っているところ多々あります。

動をしていくことはとても大切ですが、全局的に取り組むことが出来ればその効果、影響は計り知れないものとなると思われます。

昨今、自治体が観光産業に力を入れるなど、まさに自治体間競争の時代であるとも言われております。公費負担で名刺を作成し、自治体のPRを積極的に行っているところ多々あります。

動をしていくことはとても大切ですが、全局的に取り組むことが出来ればその効果、影響は計り知れないものとなると思われます。

愛知県12月議会の主な内容

認知症に理解の深いまちづくり推進に関する調査の実施 180万円(新規)

認知症に理解の深いまちづくり(あいちオレンジタウン構想)の実現を目指し、取り組み推進のコーディネーターを担う県として、拠点施設となる国立長寿医療研修センター(大府市・東浦町)の機能強化等に関する調査を実施する。

航空宇宙産業に取り組む県内企業の海外販路開拓を支援 680万円

県内の海外販路開拓を支援する(一社)中部航空宇宙産業技術センターの機能強化を図るとともに、シンガポールにおける航空ショーへの参加を通じて航空宇宙産業分野における海外企業等の情報収集を行う。

平成28年度決算の認定

平成28年度の一般会計・特別会計決算、並びに平成28年度公営企業会計決算について、10~11月に決算特別委員会で行われた閉会中審査の内容報告を経て、認定を行う。

条例案(制定・一部改正)の審議

国民健康保険事業費納付金の徴収に関する条例案 国民健康保険の制度改革に伴い、愛知県は平成30年4月から市町村とともに財政運営の責任主体となることから、市町村から徴収する納付金の算定方法を定めるもの。



▲要望聞きとり



▲県政報告



▲消防団観閲式で挨拶



▲建設委員会調査



▲沖縄県視察

建設委員会



建設委員長として(12月定例議会建設委員会)

●質問 本県の重要な課題について

面で積極的に名刺を使って愛知のPRを取り組んでいくよう、各部局の広報担当者を集めた会議や研修会において呼び掛けを行っています。

リニアの開業を10年後に控え、愛知の強みを生かした地域づくりの推進が求められる中、県の役割として、この10年のうちに何をしなければならないのかと考えた時にやはり、社会インフラの構築だと考えます。

特に懸念されるのはストロー現象で、わが愛知にとってはこのストロー現象を最小限にとどめることができます。

国全体としては当然大きな整備効果が期待されていますが、2027年の営業運転開始時に一方の終着駅となるのは名古屋駅であり、「三駅都市圏」の東側のみであります。

残された時間はたった10年しかありません。

それぞれの計画に沿った投資の計画も必要で、この点をより明確に打ち出す必要があります。

感じるのは、この点をより明確に打ち出す必要があります。

待されていますが、2027年の営業運転開始時に一方の終着駅となるのは名古屋駅であり、「三駅都市圏」の東側のみであります。

残された時間はたった10年しかありません。

●質問 社会(交通)インフラの考え方

議員ご指摘の通り、リニア開業効果を最大化に高めるインフラ整備が不可欠であり、現在、名古屋駅と